
認知症高齢者と運転： 社会支援のあり方

Social support is urgently needed for older drivers with dementia.

国立長寿医療センター 研究所 長寿政策・在宅医療研究部

荒井由美子* (部長) 新井明日奈* (室長) 水野洋子*

Ⅰ. はじめに

認知症に罹患した高齢者が、安全に自動車運転を継続することは不可能であり、いずれは自動車運転を中止する状況となることは必至である。しかし、運転中止は、高齢者本人とその家族介護者にとって、多大なる困難を生ずるものである。したがって、運転中止を円滑に進め、高齢運転者本人と公共の安全を確保するためには、認知症高齢運転者とその家族介護者に対する具体的な社会支援策を早急に構築する必要がある。

われわれは、認知症対策総合研究事業（厚生労働省）（H19-認知症-一般-025）の一環として、認知症高齢者とその家族介護者に対する支援策のあり方を検討することを企図し、全国の一般生活者を対象に高齢者及び認知症高齢者の自動車運転に関する意識調査を実施した。本稿では、この意識調査の概要を紹介する。

V. 結論

本研究から、わが国の一般生活者は、高齢者及び認知症高齢者の自動車運転に関して、1) 性別、年齢層、運転状況により、異なる認識を有していること、2) 運転継続や中止等の判断について、医師や医療機関に対して高い信頼を寄せていることが明らかになった。

認知症高齢者の円滑な運転中止には、上述の結果1) で示されたような一般生活者間の認識の乖

離を小さくし、運転中止に際しての関係者間の合意形成を促していくことが奏功すると考えられる。したがって、まずは、運転者のみならず非運転者も含め、あらゆる年齢層の一般生活者に対し、認知症高齢者の運転に関した十分な啓発活動に努めることが必要であろう。さらに、こうした合意形成がなされていくことで、各自治体が、高齢社会を踏まえた街づくりに取り組みやすくなり、運転者やその家族の移動手段の確保も可能となる。

また、運転継続あるいは中止の如何にかかわらず、認知症高齢者及び家族介護者の社会生活を支援していくためには、複数の関係機関による連携・協働が必要不可欠である。ついては、上述の結果2) で示されたような一般生活者が高い信頼を寄せている医師や医療機関を端緒とすることで、警察、免許センター、自治体をも含めた複数の機関が連携・協働できる支援体制を構築することが可能となるものと思われる。そうした支援体制のもとで、関係者間における情報の共有を促進するツールの一つとして、当該研究班の最終成果物として作成した「認知症高齢者の自動車運転を考える家族介護者のための支援マニュアル©」は大いに活用できるものと期待される。

(註：本調査の詳細については、参考文献1)を参照されたい。)

* Yumiko Arai, MD, PhD, MPH, MA. (Departmental head); Asuna Arai, PhD (Senior Research fellow); Yoko Mizuno, MSc, LL.M (Research fellow); Department of Gerontological Policy, National Center for Geriatrics and Gerontology (NCGG)
現) 独立行政法人国立長寿医療研究センター研究所 長寿政策科学研究部

参考文献

- 1) 荒井由美子：厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業)「認知症高齢者の自動車運転に対する社会支援のあり方に関する検討(H19-長寿-一般-025)」. 平成19年度総括・分担研究報告書.
- 2) Mizuno Y, Arai A, Arai Y: Determination of driving cessation for older adults with dementia in Japan. *Int J Geriatr Psychiatry* 23(9): 987-989, 2008
- 3) 荒井由美子, 新井明日奈：認知症患者の自動車運転に対する家族介護者の意識と困難. *老年精神医学雑誌* 19(増刊号1)：149-153, 2008
- 4) 荒井由美子, 新井明日奈：認知症患者の自動車運転：社会支援の観点から. *日本臨牀* 66(増刊号1 アルツハイマー病)：467-471, 2008
- 5) 新井明日奈, 水野洋子, 荒井由美子：認知症患者の交通安全対策について. *精神科* 11(1)：50-55, 2007
- 6) 新井明日奈, 荒井由美子, 松本光央, ほか：認知症高齢者の運転行動の実態－家族介護者からの評価－. *日本医事新報* 4272：44-48, 2006
- 7) Arai Y: Implementation and implications of the 2002 Road Traffic Act of Japan from the perspective of dementia and driving: A qualitative study. *Jpn Bull Soc Psychiat* 14: 158-161, 2006
- 8) 荒井由美子, 新井明日奈：高齢者への交通安全対策－認知症高齢者の運転を中心として－. *精神神経学雑誌* 107(12)：1335-1343, 2005
- 9) 荒井由美子, 新井明日奈, 水野洋子：認知症患者の運転：社会支援の必要性. *精神神経学雑誌* 111(1)；101-107, 2009
- 10) Arai A, Mizuno Y, Arai Y. Differences in perceptions regarding driving between young and old drivers and non-drivers in Japan. *Int J Geriatr Psychiatry* 2010; (in press). DOI: 10. 1002/gps. 2457
- 11) 荒井由美子, 池田学, 上村直人, 新井明日香, 水野洋子：認知症高齢者の自動車運転を考える家族介護者のための支援マニュアル. 荒井由美子監修, 認知症対策総合研究事業(厚生労働省) 認知症高齢者の自動車運転に対する社会支援のあり方に関する検討 (H19-認知症-一般-025) <http://www.ncgg.go.jp/department/dgp/index-dgp-j.htm>

この論文は、平成20年7月5日(土)第17回近畿老年期痴呆研究会で発表された内容です。